

## 介護人材実態調査 集計結果

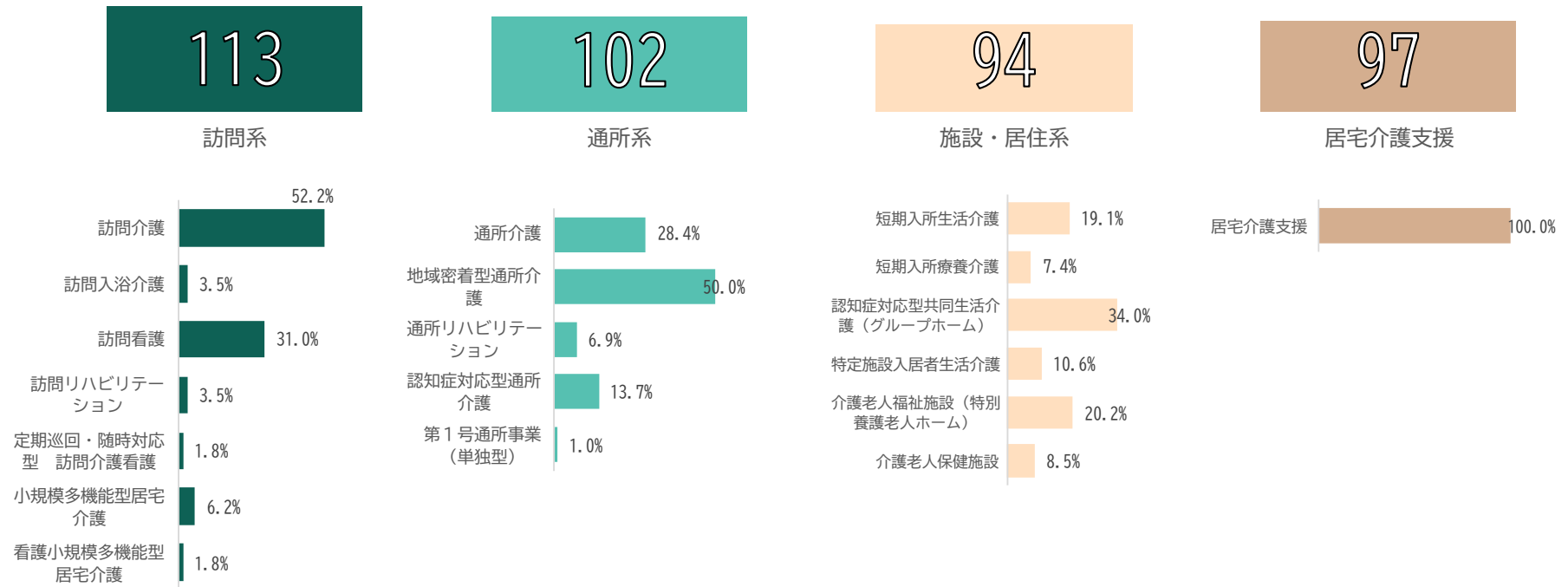
- 調査結果の各グラフには、その設問の回答対象の数（回答事業所数または回答者数）を表しています。このサンプル数には、無回答の事業所または人を含みます。
- 回答の比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

調査の対象	調査の目的	調査の概要
<p>横須賀市内の全指定介護保険サービス事業所（福祉用具貸与・販売、居宅療養管理指導、介護予防支援、養護老人ホーム及び医療みなし事業所は除く）</p> <p>※ 一部の質問は、介護職員の所属する事業所のみが回答</p> <p>実施期間 : 令和7年10月23日 ~令和8年1月31日</p> <p>発送事業所数 : 562件</p> <p>事業所票回収数 : 406件 (回収率72.2%)</p> <p>介護職員票回収数 : 2,158件 内、有効回答2,077件 ※サービス種が無回答の場合、分析不可のため無効回答とした</p>	<p>介護人材実態調査では、各事業所の</p> <p>①従業員の過不足状況とその理由、 ②従業員確保の方策、③需給の状況、 ④外国人人材の活用について</p> <p>介護人材の</p> <p>①性別・年齢構成、②資格保有状況、 ③過去1年間※の採用・離職の状況、 などを把握します。</p> <p>調査の結果や、調査結果に基づいた関係者間での議論を通じて、地域内の介護人材の確保・人材不足の状況の改善などにつなげていくことを目的としています。</p> <p>※ 過去1年間：令和6年10月1日 ~令和7年9月30日</p>	<p>介護人材実態調査は、事業所票については各事業所の管理者の方などに、職員票については各事業所で勤務する介護職員の方にご回答いただきました。なお、職員票は各職員の方にそれぞれご回答いただいたため、調査に回答した事業所の職員全員について回収できたわけではありません。</p> <p>この調査における「介護職員」とは、直接介護を行う職員を指し、訪問介護員も含むこととします。資格の有無にかかわらず、現在主に直接介護を行っている職員を対象とします。また、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません)</p>

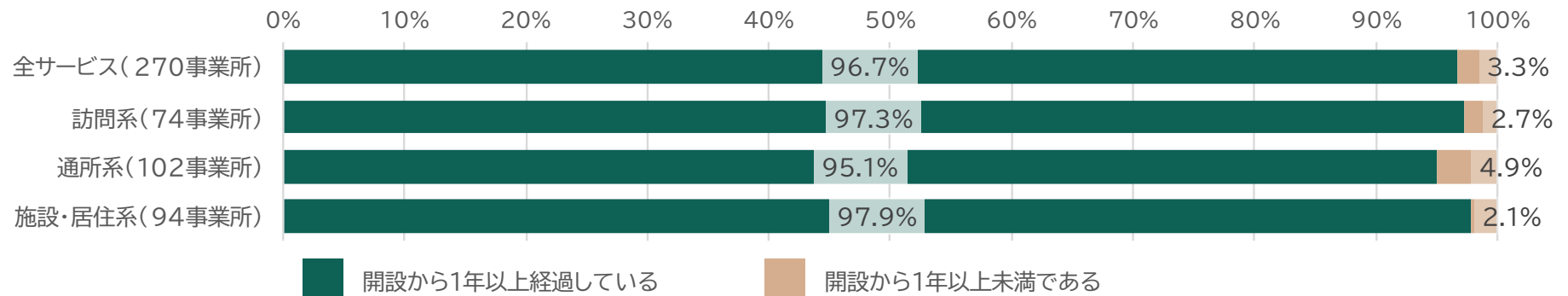
# 1 調査の結果（事業所票）

## 1. 回答事業所の概要

(1) 回答事業所のサービス系統別事業所数及び系統内の事業所数の内訳（割合）



(2) 回答事業所のうち、介護職員のいる事業所について、開設から1年以上経過しているか



## 2. 介護職員の採用及び離職について（回答事業所のうち、介護職員がいる、且つ開設から1年以上経過している事業所について集計）

### （1）過去1年間の介護職員数の変化

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数 (人)			採用者数 (人)			離職者数 (人)			昨年比 (%)		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全サービス (261事業所)	2,040	2,187	4,227	213	386	599	257	343	600	97.8	102.0	100.0
訪問系 (72事業所)	457	678	1,135	66	112	178	68	101	169	99.6	101.6	100.8
通所系 (97事業所)	335	514	849	33	91	124	31	69	100	100.6	104.3	102.8
施設・居住系 (92事業所)	1,248	995	2,243	114	183	297	158	173	331	96.5	101.0	98.5

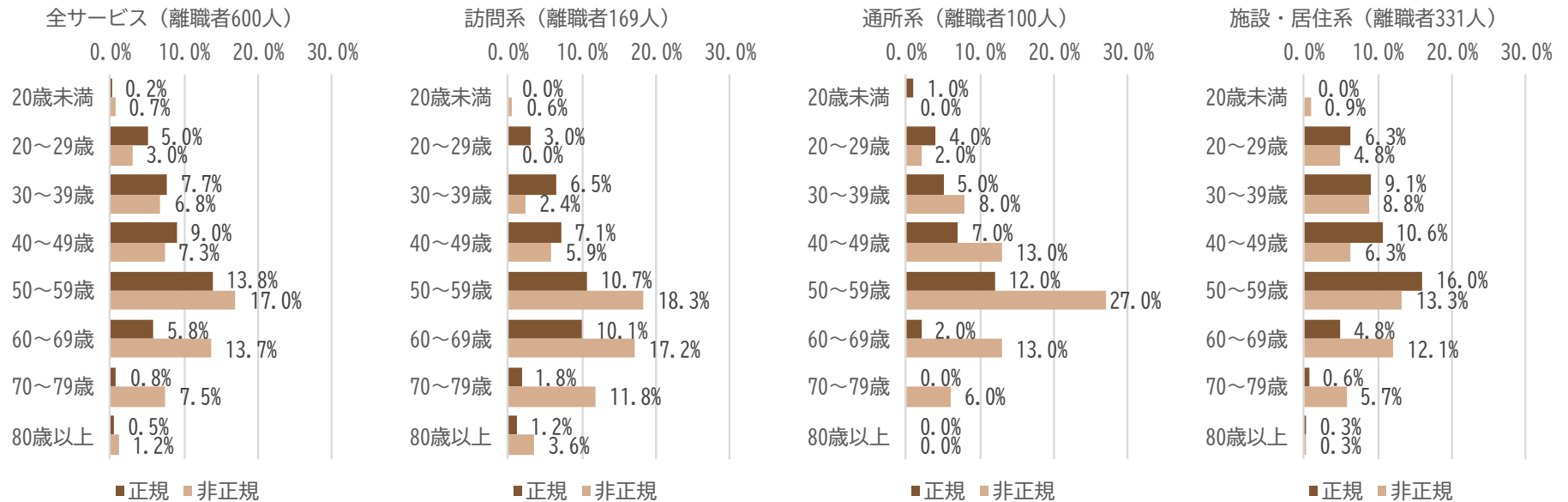
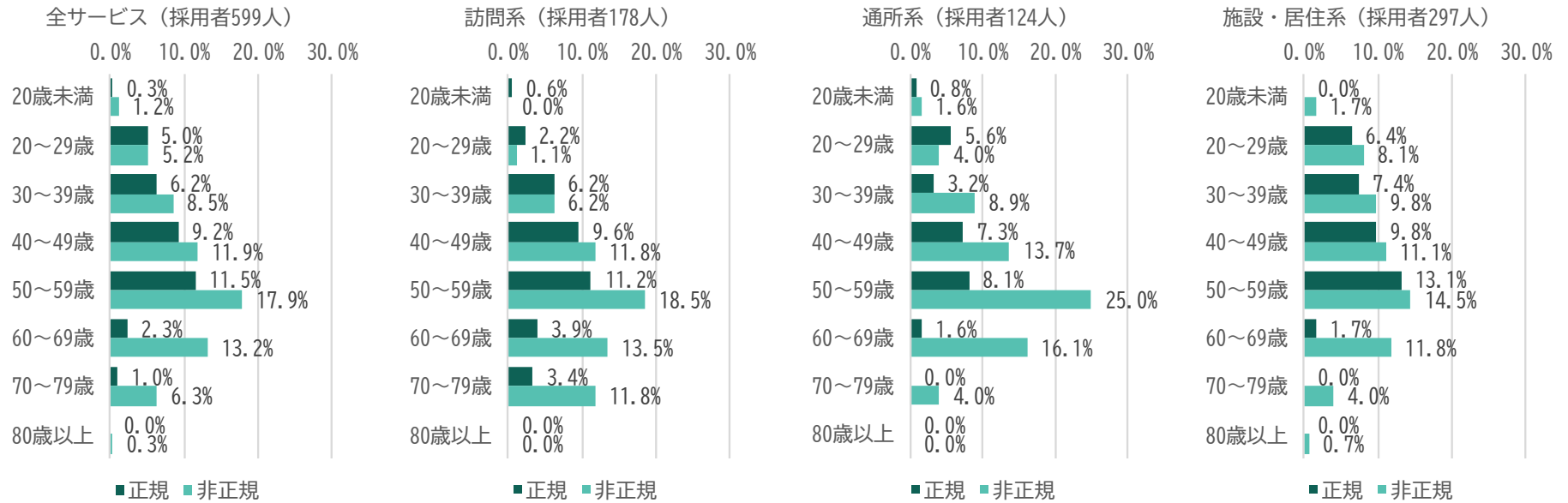
※ 「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。  
 なお、直接雇用ではない職員（派遣職員など）等は含みません。

### （2）過去1年間の採用者・離職者のサービス系統・年齢・雇用形態別の内訳

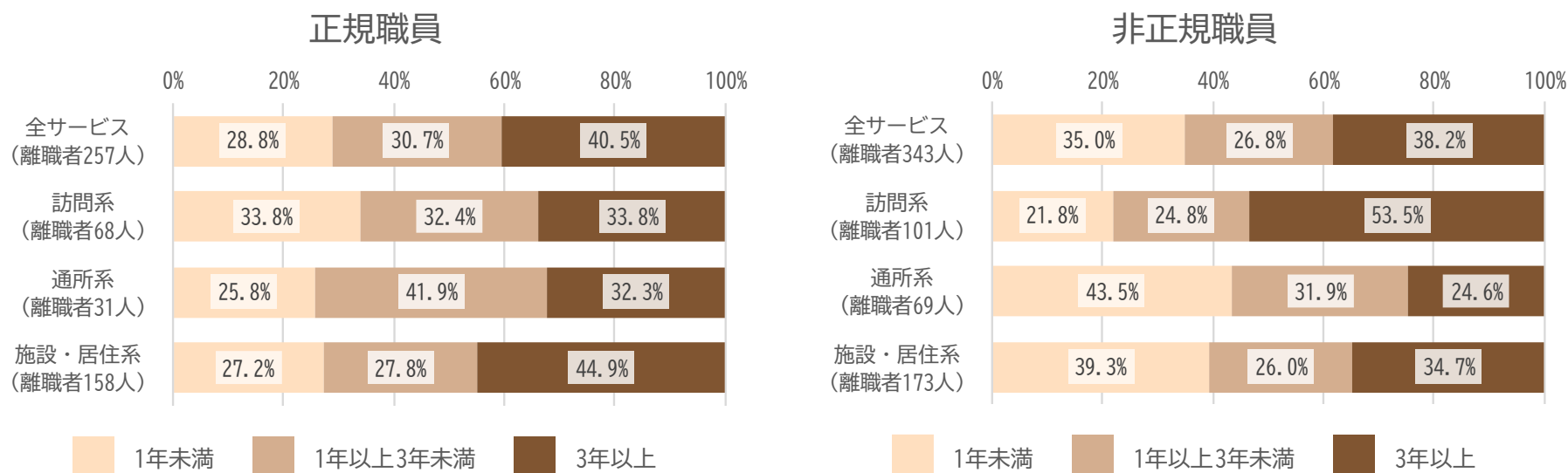
採用者 (人)	訪問系 (72事業所)		通所系 (97事業所)		施設・居住系 (92事業所)	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
20歳未満	1	0	1	2	0	5
20～29歳	4	2	7	5	19	24
30～39歳	11	11	4	11	22	29
40～49歳	17	21	9	17	29	33
50～59歳	20	33	10	31	39	43
60～69歳	7	24	2	20	5	35
70～79歳	6	21	0	5	0	12
80歳以上	0	0	0	0	0	2
合計	66	112	33	91	114	183

離職者 (人)	訪問系 (72事業所)		通所系 (97事業所)		施設・居住系 (92事業所)	
	正規	非正規	正規	非正規	正規	非正規
20歳未満	0	1	1	0	0	3
20～29歳	5	0	4	2	21	16
30～39歳	11	4	5	8	30	29
40～49歳	12	10	7	13	35	21
50～59歳	18	31	12	27	53	44
60～69歳	17	29	2	13	16	40
70～79歳	3	20	0	6	2	19
80歳以上	2	6	0	0	1	1
合計	68	101	31	69	158	173

(3) 過去1年間の採用者・離職者のサービス系統別の年齢・雇用形態別割合（系統ごとに合計を100%とし、グラフ化）



(4) 過去1年間の離職者のサービス系統別の勤務年数別割合

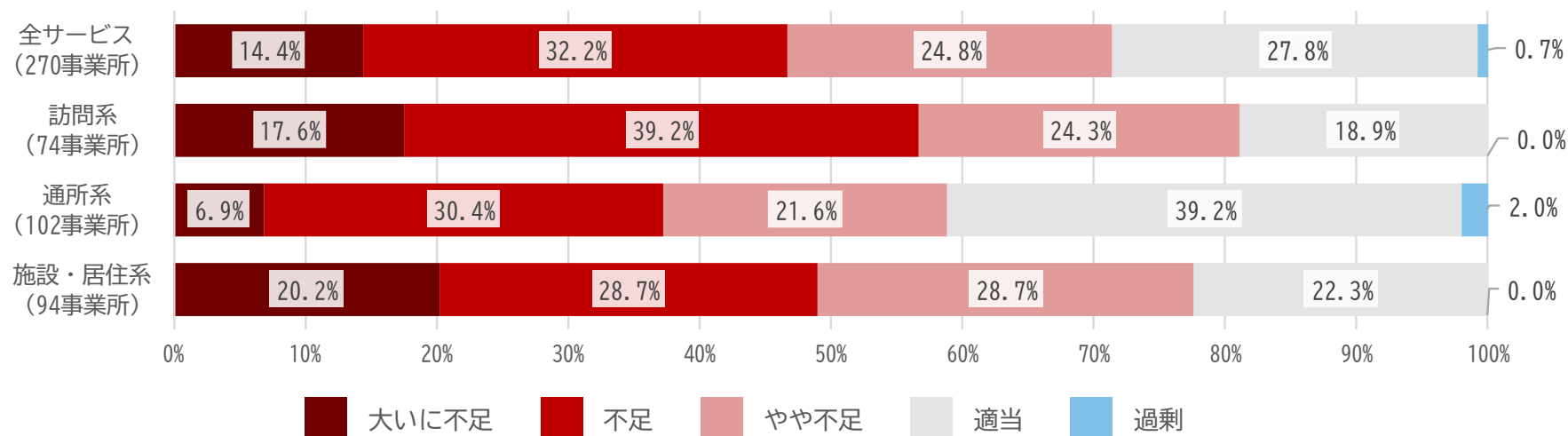


(5) 介護職員を採用するにあたり、求める資格等

	全サービス (261事業所)	訪問系 (72事業所)	通所系 (97事業所)	施設・居住系 (92事業所)
特になし	43.3%	12.5%	61.9%	47.8%
入門的研修以上	4.6%	1.4%	2.1%	9.8%
生活援助従事者研修以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
初任者研修以上	40.2%	72.2%	22.7%	33.7%
実務者研修以上	2.7%	2.8%	4.1%	1.1%
介護福祉士以上	4.6%	5.6%	6.2%	2.2%
無回答	4.6%	5.6%	3.1%	5.4%

### 3. 事業所における介護職員の過不足について（回答事業所のうち、介護職員がいる事業所について集計）

#### （1）介護職員の過不足の状況



#### （2）介護職員が不足している理由（（1）で「大いに不足」「不足」「やや不足」と回答した事業所について集計）（複数回答）

	全サービス (193事業所)	訪問系 (60事業所)	通所系 (60事業所)	施設・居住系 (73事業所)
採用が困難（募集しても人が集まらない等）	90.7%	86.7%	91.7%	93.2%
離職率が高い（辞めてしまう人が多い）	25.9%	26.7%	25.0%	26.0%
事業を拡大して人が足りない	5.2%	1.7%	11.7%	2.7%
その他	9.8%	11.7%	11.7%	6.8%

(3) 採用が困難な理由 ((2) で「採用が困難」と回答した事業所について集計) (複数回答)

	全サービス (175事業所)	訪問系 (52事業所)	通所系 (55事業所)	施設・居住系 (68事業所)
他業種に比べ賃金水準が低い	66.3%	57.7%	67.3%	72.1%
資格や技術を持った人材が地域に不足している	38.9%	26.9%	25.5%	58.8%
同業他社との人材獲得競争が厳しい	56.6%	50.0%	52.7%	64.7%
仕事がつい(身体的・精神的)というイメージがある	62.3%	63.5%	63.6%	60.3%
雇用が不安定というイメージがある	14.9%	25.0%	12.7%	8.8%
社会的評価が低いというイメージがある	44.6%	51.9%	41.8%	41.2%
その他	10.3%	5.8%	12.7%	11.8%

(4) 離職率が高い理由 ((2) で「離職率が高い」と回答した事業所について集計) (複数回答)

	全サービス (50事業所)	訪問系 (16事業所)	通所系 (15事業所)	施設・居住系 (19事業所)
勤務時間が長い	28.0%	18.8%	40.0%	26.3%
休暇が取りにくい	46.0%	43.8%	53.3%	42.1%
仕事がつい(身体的・精神的)	70.0%	56.3%	86.7%	68.4%
賃金が低い(業務量と見合わない)	64.0%	62.5%	80.0%	52.6%
キャリアアップの機会が不十分	14.0%	18.8%	6.7%	15.8%
社会的評価が低いと感じる	28.0%	18.8%	53.3%	15.8%
職場の人間関係	50.0%	50.0%	60.0%	42.1%
利用者やその家族との人間関係	18.0%	25.0%	6.7%	21.1%
身内のケア(介護・看護・育児等)	38.0%	43.8%	33.3%	36.8%
定年や高齢になったため	38.0%	50.0%	20.0%	42.1%
その他	8.0%	6.3%	0.0%	15.8%

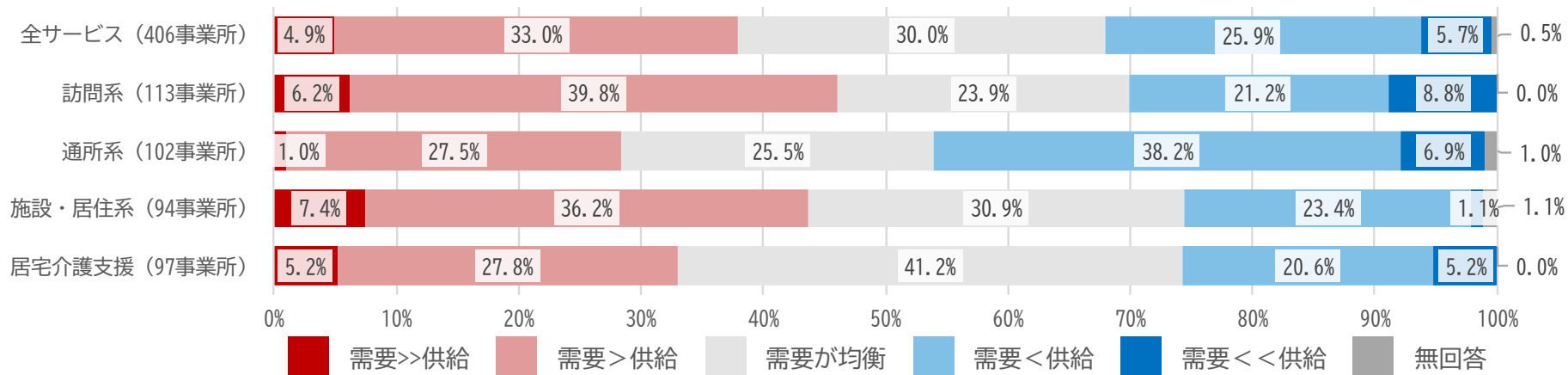
#### 4. 今後の介護人材克服のために事業所として優先度の高い方策について（3つまで）

	全サービス (406事業所)	訪問系 (113事業所)	通所系 (102事業所)	施設・居住系 (94事業所)	居宅介護支援 (97事業所)
職員の離職防止・定着促進	66.7%	71.7%	69.6%	61.7%	62.9%
若手職員の新規採用	51.5%	57.5%	46.1%	57.4%	44.3%
高齢者（アクティブシニア層）の活用	21.4%	24.8%	16.7%	22.3%	21.6%
介助助手や未経験者の活用	16.0%	15.0%	21.6%	25.5%	2.1%
外国人労働者の活用	10.3%	7.1%	11.8%	21.3%	2.1%
介護業界のイメージアップ	24.4%	23.0%	37.3%	16.0%	20.6%
若い世代への介護の仕事のPR	12.8%	17.7%	11.8%	6.4%	14.4%
介護ロボットやICTの導入による職員の負担軽減	20.4%	10.6%	14.7%	36.2%	22.7%
業務の効率化や生産性向上	49.3%	46.0%	44.1%	35.1%	72.2%
無回答	1.2%	0.0%	2.9%	1.1%	1.0%

#### 5. 事業所が受けられる利用者の数（供給※1）と事業所の利用を希望する人の数（需要※2）の関係

※1 供給は定員、ベッド数、人員体制等

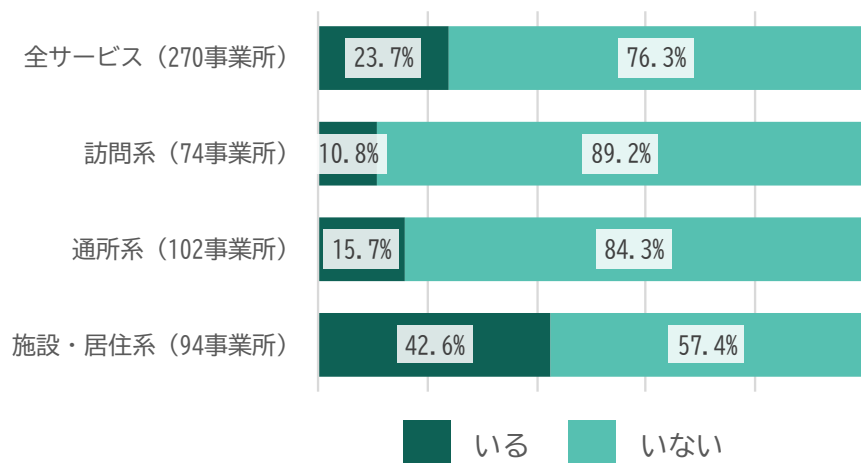
※2 需要には、現在の利用者も含める



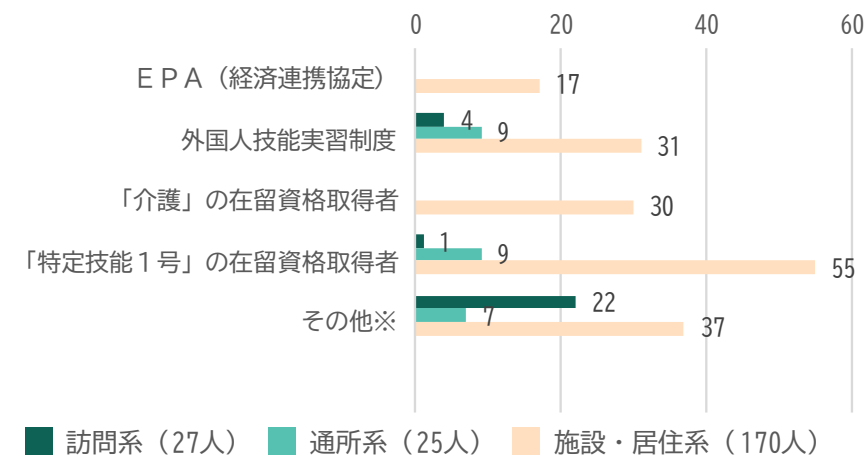
※需要が供給を上回る…待機やお断りをせざるを得ない利用希望者がいる      需要が供給を下回る…利用者が事業所の受け入れ可能人数より少ない

## 6. 外国人人材の活用について

(1) 介護の仕事に従事する外国人の有無（令和7年10月1日現在）

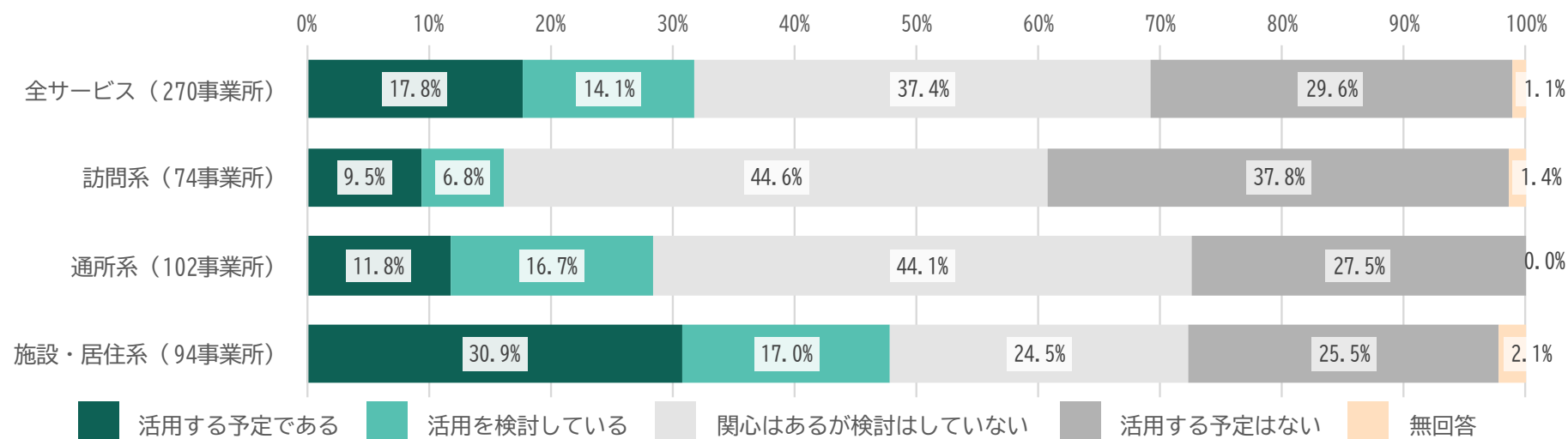


(2) 外国人従業員の受け入れ形態ごとの人数  
（外国人従事者のいる事業所について集計）



※その他…留学生、永住者、定住者、日本人の配偶者等

(3) 今後の外国人人材の活用について



(4) どのような形態での受け入れを考えているか

((3) で「活用する予定である」「活用を検討している」と答えた事業所について集計) (複数回答)

	全サービス (86事業所)	訪問系 (12事業所)	通所系 (29事業所)	施設・居住系 (45事業所)
E P A (経済連携協定)	15.1%	0.0%	13.8%	20.0%
外国人技能実習制度	30.2%	16.7%	37.9%	28.9%
「介護」の在留資格取得者	44.2%	41.7%	34.5%	51.1%
「特定技能1号」の在留資格取得者	72.1%	41.7%	75.9%	77.8%
育成就労制度	3.5%	0.0%	3.4%	4.4%
無回答	1.2%	0.0%	3.4%	0.0%

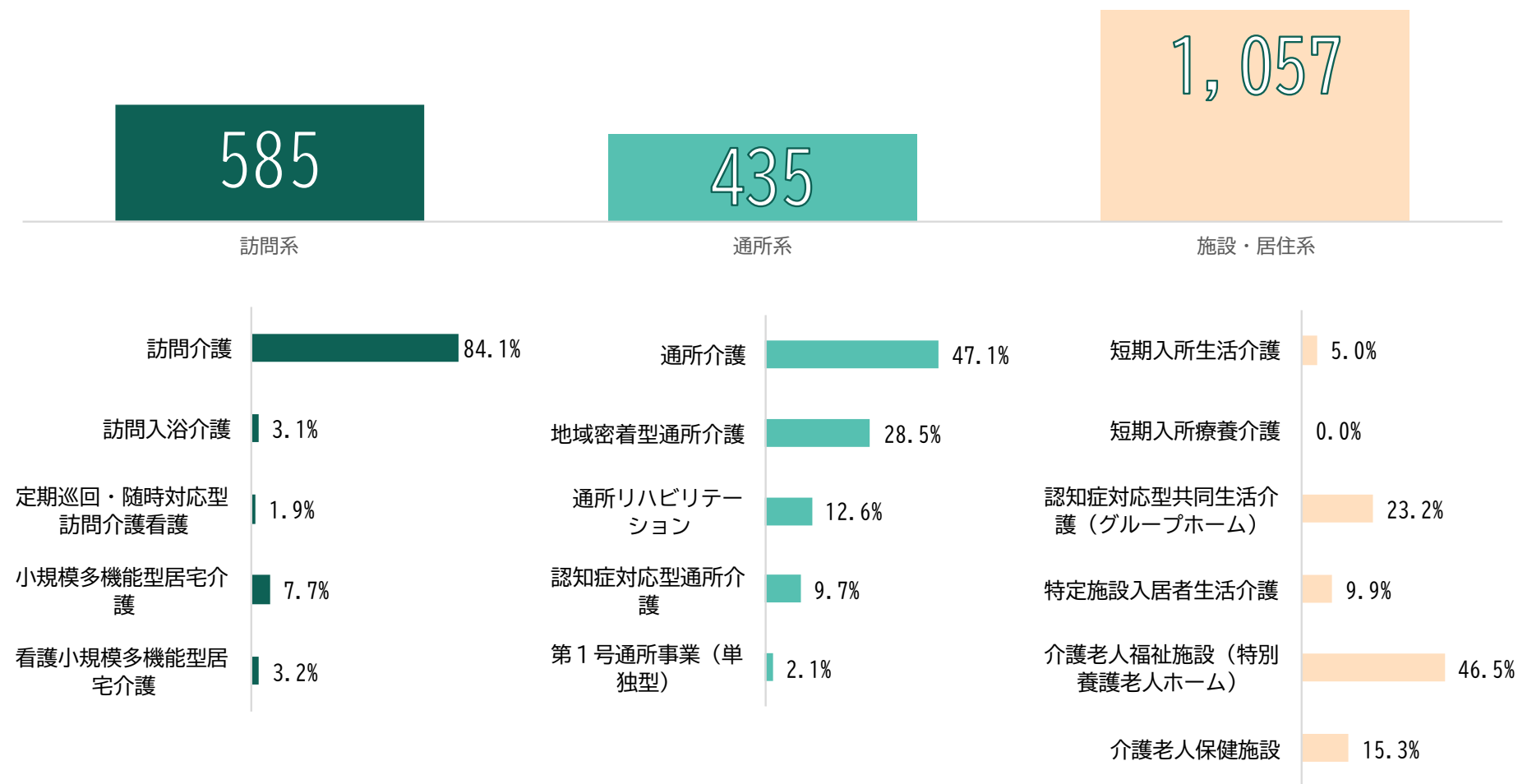
(5) 外国人人材の活用についての課題 (複数回答)

	全サービス (270事業所)	訪問系 (74事業所)	通所系 (102事業所)	施設・居住系 (94事業所)
職員との意思疎通が難しい	51.9%	48.6%	46.1%	60.6%
利用者・家族との意思疎通が難しい	64.4%	78.4%	59.8%	58.5%
介護記録等の書類作成に課題がある	64.1%	63.5%	56.9%	72.3%
文化や生活習慣等の違いから仕事に支障がある	43.7%	54.1%	34.3%	45.7%
日本語習得や専門技術にかかる研修費用の負担が大きい	38.5%	37.8%	29.4%	48.9%
O J T (職場内研修) を担当する職員の負担が大きい	42.2%	37.8%	40.2%	47.9%
住宅確保や福利厚生面などの費用負担がかかる	45.2%	39.2%	41.2%	54.3%
長期的な雇用の面で不安がある	48.1%	41.9%	45.1%	56.4%
様々な手続きがあるため、実際の採用までに時間がかかる	43.0%	43.2%	36.3%	50.0%
受け入れ制度が複雑で分かりにくい	38.5%	37.8%	43.1%	34.0%
無回答	1.9%	2.7%	2.9%	0.0%

## 2 調査の結果（介護職員票）

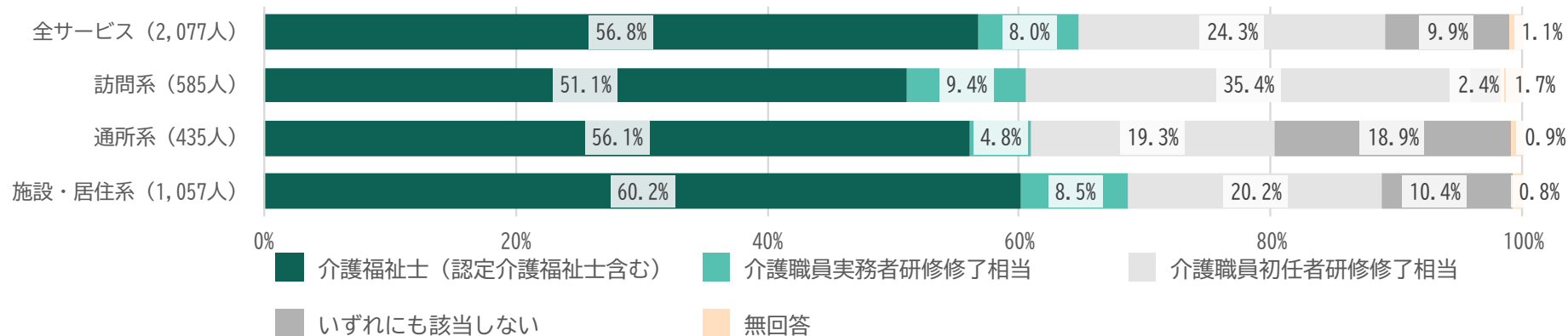
### 1. 回答者の概要

（1）所属するサービス系統別の回答者数及び系統内の内訳（割合）

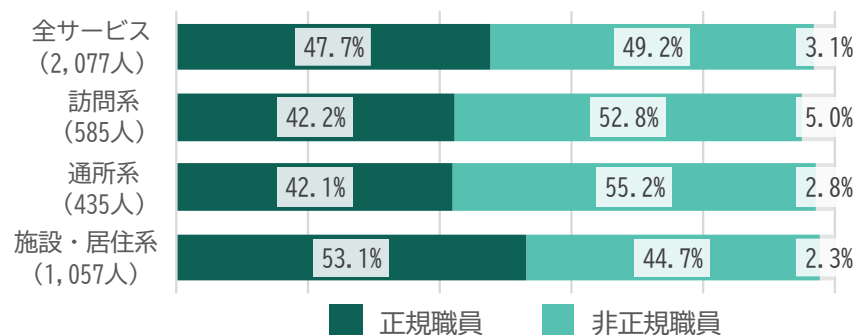


※介護職員票は、事業所の種別を回答しているものを有効回答として集計しています

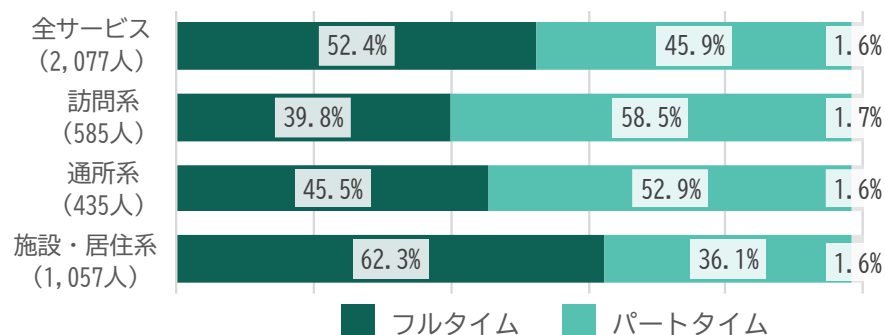
## (2) 持っている資格、または修了している研修



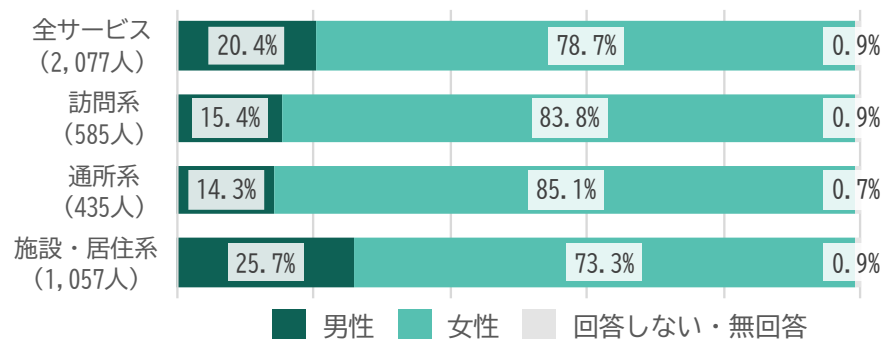
## (3) 雇用形態



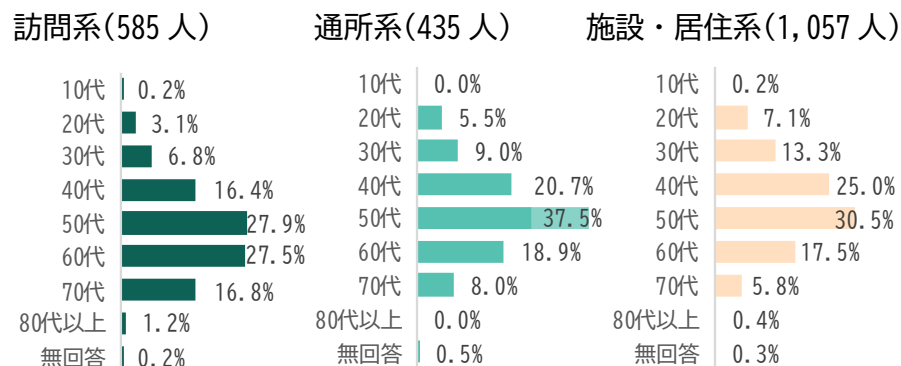
## (4) 勤務時間



## (5) 性別

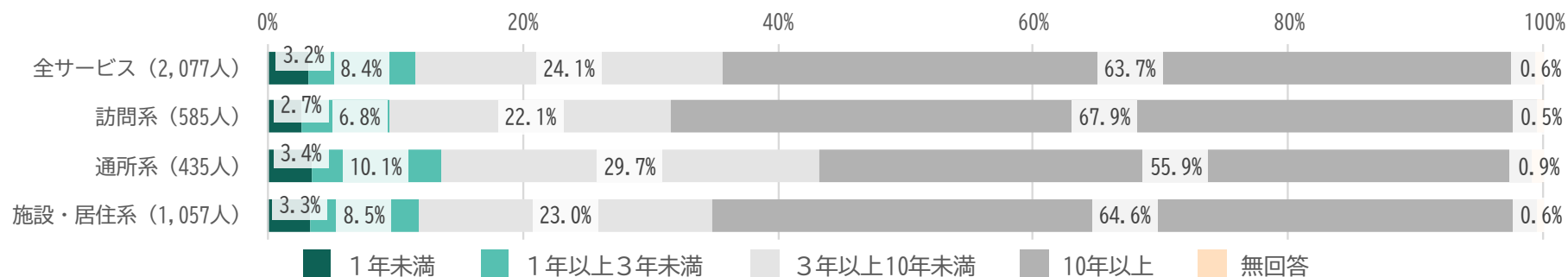


## (6) 年齢

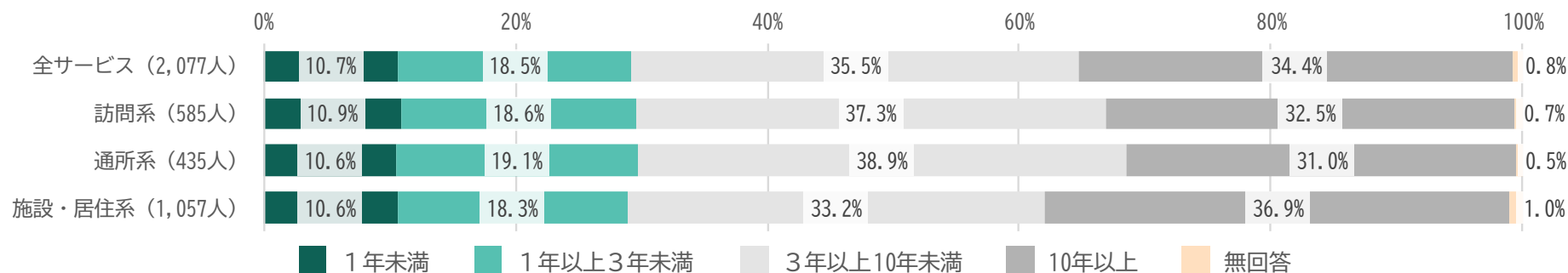


## 2. 勤務状況について

### (1) 介護職員として働いている通算年数



### (2) 現在の事業所での勤務年数



### (3) 介護職員として働く中で、不満に感じていること（複数回答）

	全サービス (2,077人)	訪問系 (585人)	通所系 (435人)	施設・居住系 (1,057人)
勤務時間が長い	9.1%	5.6%	7.8%	11.6%
休暇が取りにくい	27.5%	25.6%	26.9%	28.8%
仕事がきつい（身体的・精神的）	32.3%	17.6%	26.0%	43.0%
賃金が低い（業務量と見合わない）	57.5%	48.9%	60.5%	61.1%
キャリアアップの機会が不十分	9.3%	7.5%	10.3%	9.8%
社会的評価が低いと感じる	35.8%	31.1%	35.9%	38.3%
職場の人間関係	17.8%	12.5%	13.8%	22.4%
利用者やその家族との人間関係	9.5%	9.6%	5.3%	11.3%
身内のケア（介護・看護・育児等）との両立が難しい	8.2%	8.4%	5.3%	9.4%
その他	5.4%	5.3%	5.3%	5.5%
特になし	17.9%	24.8%	20.9%	12.8%
無回答	0.6%	0.7%	0.7%	0.5%

### 3. 入職に至る経緯について

#### (1) 現在の事業所に入職したきっかけ

	全サービス (2,077人)	訪問系 (585人)	通所系 (435人)	施設・居住系 (1,057人)
会社に直接問い合わせた	10.9%	13.0%	10.1%	10.0%
学校（先生からの紹介、学生課の窓口や掲示板）	3.5%	1.5%	2.1%	5.1%
現在の職場の先輩や上司からの勧誘	12.1%	17.4%	13.8%	8.4%
家族・知人（現在の職場の先輩等を除く。）からの紹介	19.8%	22.4%	22.5%	17.3%
前の職場からの紹介	2.3%	4.8%	0.7%	1.6%
ハローワーク（職業安定所）	12.8%	9.1%	12.9%	14.8%
人材紹介会社	6.2%	3.6%	3.0%	9.0%
求人情報（紙面による）	10.3%	6.3%	11.5%	12.0%
求人情報（インターネットの転職情報サイト等）	11.0%	7.2%	13.6%	12.0%
その他	10.2%	13.2%	9.2%	9.0%
無回答	1.0%	1.5%	0.7%	0.8%

#### (2) 現在の勤務先を選んだ理由（複数回答）

	全サービス (2,077人)	訪問系 (585人)	通所系 (435人)	施設・居住系 (1,057人)
賃金が比較的高かったから	9.7%	5.3%	4.8%	14.2%
自分や家族の都合が良い時間（日）に働けるから	27.4%	35.4%	30.8%	21.6%
通勤の便が良かったから	46.9%	40.0%	53.6%	48.0%
夜間勤務がないから	8.8%	10.3%	20.9%	3.0%
人間関係が良好そうだから	10.8%	10.9%	17.0%	8.1%
やりたい職種・仕事内容だったから	23.1%	25.0%	23.9%	21.7%
能力や資格が活かせるから	13.0%	16.4%	15.2%	10.3%
正規職員として働けるから	16.0%	11.5%	13.6%	19.5%
教育研修や資格取得支援等が充実しているから	1.3%	1.2%	1.6%	1.1%
その他	10.7%	9.7%	9.4%	11.8%
特に理由はない	5.0%	5.3%	3.4%	5.5%
無回答	0.7%	0.9%	0.5%	0.8%



## 4. 今後について

### (1) 今後受けたい研修（複数回答）

	全サービス (2,077人)	訪問系 (585人)	通所系 (435人)	施設・居住系 (1,057人)
介護に関するノウハウやスキル向上のための研修	46.5%	47.9%	48.0%	45.0%
マネジメントの知識・スキルを身につける研修	14.6%	12.3%	16.6%	15.1%
OJT（事業場内での指導力養成）研修	9.8%	9.1%	7.4%	11.2%
コミュニケーションスキルの研修	20.1%	17.3%	23.4%	20.3%
ハラスメント防止に関する研修	11.3%	9.1%	9.4%	13.3%
リスク管理に関する研修	14.7%	12.0%	14.7%	16.3%
ストレスケア（ストレスマネジメント）に関する研修	22.1%	19.3%	20.7%	24.2%
特にない	27.9%	27.0%	26.9%	28.9%
無回答	1.7%	1.7%	1.4%	1.8%

### (2) 3年後、横須賀市で現在の仕事を続けているか

